

公共下水道への接続意向調査について（中間報告）

「町田市公共用水域水質改善10ヶ年計画」（以下、「10ヶ年計画」）は、2017年度から2026年度の10年間で事業を実施するものです。2017年度から2021年度の5年間を前期事業、2022年度から2026年度の5年間を後期事業とし、今年度は前期事業の3年目です。

前期事業については、市街化調整区域にお住まいの皆様（家屋を所有されている方）に公共下水道へ接続意向を確認し、現在、下水道の整備を進めています。

このたび、後期事業を2022年度から円滑に進めるために、公共下水道へ接続意向の調査を実施し、意向状況がまとまりましたので報告いたします。

1 計画の概要

(1) 計画の目的

人口減少や高齢化、厳しい財政状況、下水道施設の改築更新の増大を踏まえた上で、地域の実情に応じた汚水処理の手法を①公共下水道の整備と②合併処理浄化槽への切り替え促進・維持管理の推進の2つとし、公共用水域の水質改善を図ることを目的とします。

(2) 計画の期間

2017年度～2026年度の10ヶ年とします。2017年度から2021年度を前期事業、2022年度から2026年度を後期事業とし、事業を進めていきます。

(3) 計画の目標

2026年度末までに水洗化率100%を目標とします。また、2019年4月1日時点で水洗化率*は98.8%に達しています。

※水洗化率とは、市内の全人口に対して、公共下水道への接続や合併処理浄化槽での汚水処理をしている人口の割合を指します。

2 公共下水道への意向調査方法

後期事業として市街化調整区域にお住まいの皆様（家屋を所有されている方）に公共下水道へ接続意向の確認を行いました。

意向調査実施にあたっては、職員が対象家屋に直接訪問し、調査主旨及び内容を丁寧に説明することで、意向調査に対し理解していただけるよう取り組みました。

(1) 意向調査実施に向けた町内会長等への説明

- ・ 2019年6月25日

意向調査実施区域の各町内会長（小野路、真光寺、野津田、函師、上小山田、下小山田町内会長（6町内会）、鶴川連合町内会長への説明

- ・ 2019年6月26日

意向調査実施区域の各町内会長（相原陽田、相原元橋、丸山、中相原、相原大戸相原連合（6町内会）、忠生連合町会長への説明

(2) 対象家屋への接続意向調査実施

- ・ **第1回目**：2019年 7月5日～ 8月16日（約600箇所）

不在宅は、調査表を投函または郵送し、後日問い合わせがあった場合にも調査主旨及び内容について丁寧に説明を行い、意向調査に対し理解していただけるよう取り組みました。

- ・ **第2回目**：2019年11月5日～11月13日（約300箇所）

第1回目の意向調査回答状況のうち、未回答の対象家屋へ再度訪問し、調査主旨及び内容の説明により、意向調査への協力をお願いしました。

- ・ **第3回目**：2020年1月22日～1月27日（2日間）

第1回、第2回の意向調査により返信された回答書の「その他、公共下水道に関する意見・要望について」に記述されていた内容から、説明を希望されていた方に対して再度訪問し、調査主旨及び内容の説明により、意向調査についてご理解いただけるよう取り組みました。

3 公共下水道への接続意向調査結果

調査数	割合	調査結果	割合
アンケート配布数	602 箇所	接続を希望	75 %
アンケート回答数	439 箇所	接続を希望しない	23 %
アンケート回収率	73 %	未記入	2 %

※別紙 行政報告参考資料-2 「公共下水道への接続意向調査結果について」参照

4 今後の予定

- 2020年7月 「接続意向調査結果」に基づき「町田市公共用水域水質改善10ヶ年計画」(後期事業)における下水道整備地区の抽出
- 2021年3月 「町田市公共用水域水質改善10ヶ年計画」(後期事業)における下水道整備地区の決定(都市計画決定)
- 2021年4月 「町田市公共用水域水質改善10ヶ年計画」に基づく後期事業(下水道整備)の設計
- 2022年4月 「町田市公共用水域水質改善10ヶ年計画」に基づく後期事業(下水道整備)の工事実施

19 町下整第 249 号
2019 年 7 月 1 日

住民のみなさまへ

町田市長 石坂 丈一
(公印省略)

公共下水道への接続意向調査について（依頼）

日頃より町田市公共下水道事業に、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

町田市は、「町田市公共用水域水質改善 10 年計画」に基づき、2026 年度末までに水洗化率※100%を目指し、公共下水道の整備に加え、くみ取便所や単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への切替えを促進しています。

「町田市公共用水域水質改善 10 年計画」では、前期（2017 年度から 2021 年度）・後期（2022 年度から 2026 年度）の 2 期に分けて整備地区を決定し、2014 年度から 2015 年度に行ったアンケート結果に基づき、前期 5 か年の公共下水道工事を実施しています。このたび、後期 5 か年の整備地区を決定するにあたり、再度、公共下水道への接続意向を確認させていただきたいと考えています。

なお、公共下水道への接続を希望と回答された方であっても、周辺の方々の接続の希望が少ない地区等については、公共下水道の整備を行わない地区となる場合があります。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査へのご協力をお願いいたします。

- ・調査回答方法：調査用紙を同封の返信用封筒に入れて返送
- ・調査回答期限：2019 年 8 月 31 日まで

ご不明な点等がございましたら、下記連絡先までお問合せください。

◆調査の取扱いについて◆

- ・この調査は、2014 年度から 2015 年度に実施した水洗化方式の選択に関するアンケート調査の結果、公共下水道の整備を再検討する地区となった家屋を対象としています。
- ・個々のご回答の内容を公表することは、一切ありません。
- ・調査結果は、生活排水処理に関する施策の実施の目的に限って使用いたします。

※水洗化率とは、市内の全人口に対して、公共下水道への接続や合併処理浄化槽での汚水処理をしている人口の割合を指します。

問合せ先
町田市下水道部下水道整備課 事業係
〒194-8520 東京都町田市森野 2-2-22(8 階)
電話 042 (724) 4301
FAX 050 (3161) 6537

年 月 日

資料 1 - 2

公共下水道への接続意向調査

公共下水道への接続意向について、別紙資料を参考に下記意向調査にご回答
いただくようお願いいたします。（別紙資料は、あくまで参考資料であり、実際
の費用は、各土地・建物により異なります。）

1. 公共下水道への接続意向の有無

- 公共下水道接続を希望する
- 公共下水道接続を希望しない

2. 公共下水道の切替時期（1.で「公共下水道を希望する」とした方のみ）

- 公共下水道が整備されたら直ちに接続する
- 公共下水道が整備されたら3年以内に接続する
- 切替工事費用の準備が調い次第、接続する
- 建替えに合わせて接続する
- いずれ公共下水道へ切替えるつもりだが、当面切替工事を行わない

3. 公共下水道を希望しない理由

（1.で「公共下水道接続を希望しない」とした方のみ）

- 公共下水道に接続するための費用が高い
- 合併処理浄化槽を使用しているため公共下水道は必要ない
- 単独処理浄化槽、くみ取便所から合併処理浄化槽へ切替える
- 建物を使用していない。今後使用する予定がない
- その他

4. その他

公共下水道に関する意見・要望がございましたら、ご記入をお願いします。

住 所 _____

氏 名 _____

年間の管理費用比較（参考）

資料 1 - 3

下表の金額は参考値となりますが、意向調査回答の参考としてください。

（1 年間）

	公共下水道を整備した場合	合併処理浄化槽（5人槽）を使用した場合	単独処理浄化槽（5人槽）を使用した場合	くみ取便所を使用した場合
下水道料金※1	24,000 円※1			
浄化槽清掃費用※3		25,000 円	25,000 円	
浄化槽保守点検費用※3		18,000 円	18,000 円	
浄化槽法定検査費用		5,500 円	5,500 円	
維持管理費補助額		-20,000 円※4	-15,000 円※4	
くみ取り費用（12回/年）				24,000 円※5
合 計（円）	24,000 円※2	28,500 円	33,500 円	24,000 円

※1：現在、町田市内一般家庭の下水道使用量の平均値である2か月で40 m³使用した場合の金額となります。各家庭の汚水量に合わせた料金をあてはめて確認をお願いいたします。

※2：下水道を整備した場合、下水道料金とは別に、受益者負担金 260 円/m³（現行）と切替工事費用が一時的にかかります。

※3：出典：環境省パンフレット「単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ」
費用は浄化槽の規模と実施する各事業者によって異なります。

※4：清掃・保守点検・法定検査をすべて行った場合、浄化槽維持管理費用の一部を補助しています。
2026年度末までに単独処理浄化槽に対する維持管理費補助は廃止される予定です。

※5：し尿くみ取りの手数料は、1便槽あたり2,000円/回です。
上表は月に1回くみ取りを行った場合となります。

○下水道料金

下水道料金は、水道料金と合わせて納めていただくこととなります。

下水道料金を合わせることで、現在お支払いの水道料金が約1.8倍程度になります。

下記 に現在の水道料金を入れて、下水道料金がいくらになるか確認してください。

◆2か月間水道・下水道料金

$$\begin{array}{ccccccc} \text{現在の水道料金} & & \text{概ね} & & \text{2か月間の水道・下水道料金} & & \\ \text{ } & \times & 1.8 \text{ 倍} & = & \text{ } & \text{円} / 2 \text{ か月} & \end{array}$$

◆年間の下水道料金

$$\begin{array}{ccccccc} \text{2か月間の水道・下水道料金} & & \text{現在の水道料金} & & \text{年間の下水道料金} & & \\ \text{ } & - & \text{ } & \text{) } \times 6 = & \text{ } & \text{円} / \text{年} & \end{array}$$

公共下水道を選択した場合の初期費用について

資料 1 - 4

○受益者負担金について

受益者負担金は 1 m²あたり 260 円（現行）です。

道路、公園などの公共施設は、不特定多数の市民が利用できますが、公共下水道の場合、利用できるのは、公共下水道が整備された区域内のみなさまに限られます。公共下水道が整備されることによって、周辺環境がよくなり、健康で快適な生活を送ることができるなど様々な利益を受ける方に、その事業費（整備費）の一部を負担していただくのが、受益者負担金制度です。

・対象面積の考え方

受益者が負担する負担金の算定基準となる面積は、原則、登記簿上の面積によります。ただし、市長が必要と認めたときは、実測等の方法（三斜法図面等の書類）により、対象面積を減らすことができます。

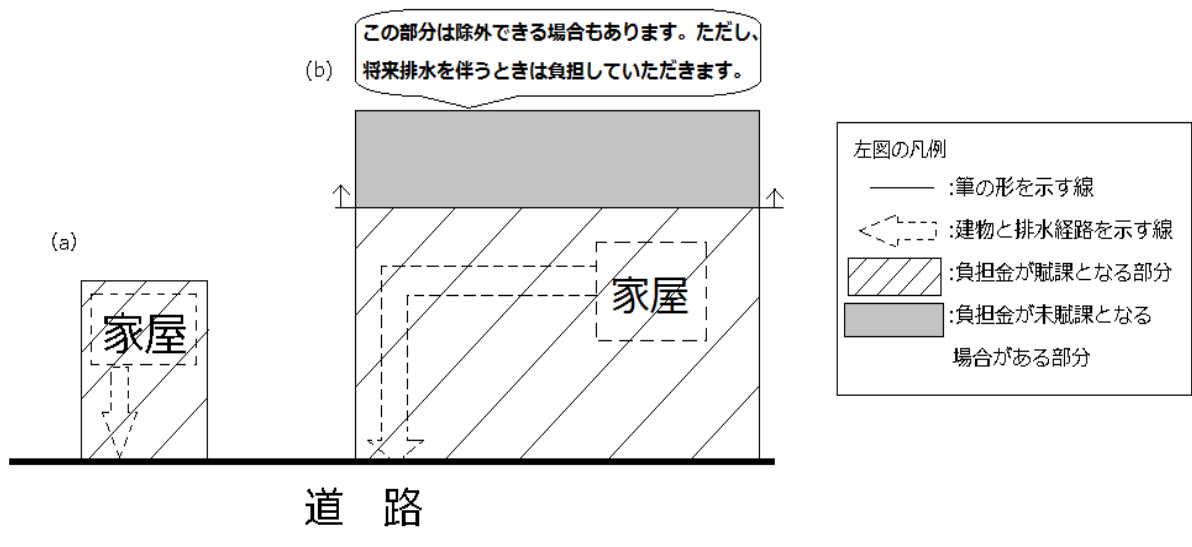
（例）

a) 一般的な家屋の場合

登記簿上の面積による。

b) 登記簿上の面積に対し、家屋の占める割合が小さい場合

建物と排水経路を含む面積の実測等によることができる場合があります。ただし、その際、除外された敷地において将来土地利用が行われた時は、改めてその部分の負担金が発生します。



◆受益者負担金

下記 _____ に登記簿上の面積を入れて、受益者負担金がいくらになるか計算してみてください。

登記簿上の面積 _____ m² × 260 円/m²（現行） = 受益者負担金 _____ 円

○公共下水道への切替工事について

・宅内排水設備について

合併処理浄化槽等から公共下水道へ切替えを行う場合、切替工事の費用がかかります。切替費用につきましては、各家庭で異なりますので、町田市排水設備指定工事店に見積りを依頼し、確認していただくこととなります。

・貸付金制度について

切替費用の一部をお貸しする制度として、貸付金制度があります。無利息で36か月均等償還による返済になります。

○合併処理浄化槽への切替補助金について

単独処理浄化槽及びくみ取便所から、合併処理浄化槽への切替工事を行う方に切替費用の一部を補助しています。

※単独処理浄化槽やくみ取便所を利用されている方は、早めに合併処理浄化槽への切替えをお願いいたします。

問合せ先

主 な 業 務	担 当 課	電 話 番 号
受益者負担金・下水道料金について	下水道総務課	042-724-4295
公共下水道の計画・工事について	下水道整備課	042-724-4301
供用開始・貸付金制度について		042-724-4297
浄化槽切替補助金・維持管理費について		042-724-4306
指定工事店・宅内排水設備について	下水道管理課	042-724-4330

公共下水道への接続意向調査結果について

アンケート配布数	602 箇所	アンケート回収率	73%
アンケート回答数	439 箇所		

1. 水洗化方式の選択

- 公共下水道接続を希望する
- 公共下水道接続を希望しない
- 未記入

割合
75%
23%
2%

2. 公共下水道の切替時期（2.で「公共下水道を希望する」とした方のみ）

- 公共下水道が整備されたら直ちに接続する
- 公共下水道が整備されたら3年以内に接続する
- 切替工事費用の準備が調い次第、接続する
- 建替えに合わせて接続する
- いずれ公共下水道へ切替するつもりだが、当面切替工事を行わない

割合
55%
13%
21%
3%
8%

3. 公共下水道を希望しない理由

- 公共下水道に接続するための費用が高い
- 合併処理浄化槽を使用しているので公共下水道は必要ない
- 単独処理浄化槽、くみ取便所から合併処理浄化槽へ切替える
- 建物を使用していない、今後使用する予定がない
- その他

割合
46%
37%
1%
7%
9%

・公共下水道料金の方が高くなってしまいう計算になったため。

4. その他

公共下水道に関する意見・要望がございましたら、ご記入をお願いします。

- ・早急に整備されることを希望する。
- ・浄化槽の清掃・保守点検等に手間がかかるため、早く公共下水道の整備を希望します。
- ・下水道工事に伴い、道路舗装が少しでも改善されることを願っています。

○経緯及び進捗状況

2012年3月	町田市下水道ビジョン及び町田市下水道アクションプラン策定 ・市街化区域の污水管整備の推進 ・市街化調整区域の適正な汚水処理の推進
2014年3月	市街化調整区域の公共下水道で汚水処理することが望ましい区域を抽出 ・市街化調整区域約1100戸のうち、公共下水道約800戸、 合併処理浄化槽約300戸に区分
2014年6月	第2回定例会行政報告「今後の下水道整備のあり方について（中間報告）」 ・（仮称）町田市公共用水域水質改善10ヶ年計画（案）の概要を説明
2015年2月 ～3月	市街化調整区域をかかえる4地区（相原地区、下小山田地区、函師地区、 小野路地区）の町内会・自治会へ「（仮称）町田市公共用水域水質改善10ヶ年計 画（案）」の進め方について説明 ・「水洗化方式の選択に関するアンケート」を公共下水道予定地区に配布
2015年3月	第4回定例会行政報告「今後の下水道整備のあり方について（中間報告）その2」 ・町内会自治会連合会に対し説明会等を行った旨の報告 ・「水洗化方式の選択に関するアンケート」を資料提供
2015年7月 ～10月	市街化調整区域をかかえる4地区（上小山田地区、野津田地区、真光寺地区、 三輪地区）の町内会・自治会へ「（仮称）町田市公共用水域水質改善10ヶ年計画 （案）」の進め方について説明 ・「水洗化方式の選択に関するアンケート」を公共下水道予定地区に配布
2015年12月	調査書の再配布 ・各戸に配布した調査書の回答が無い世帯に対し、再度回答をお願いする 旨の再配布
2016年3月	アンケート結果に基づく公共下水道予定整備地区図の作成着手
2016年3月	第1回定例会行政報告「今後の下水道のあり方について（中間報告）」 ・水洗化方式の選択に関するアンケート結果の報告
2016年5月	「町田市公共用水域水質改善10ヶ年計画」策定
2016年6月	第2回定例会行政報告「町田市公共用水域水質改善10ヶ年計画について」 ・町田市公共用水域水質改善10ヶ年計画の策定について報告 ・受益者分担金、浄化槽維持管理補助費、し尿くみ取り費用について説明
2017年4月	「町田市公共用水域水質改善10ヶ年計画」に基づく事業の実施
2019年3月	800戸のうち52戸への公共下水道整備が完了（前期事業） 第1回定例会行政報告「公共下水道への接続意向調査について」 ・町田市公共用水域水質改善10ヶ年計画に基づく後期事業を、2022年度から 円滑に進めるため、「公共下水道への接続意向調査」の実施について説明